「生物学的検査を用いた精神神経疾患の診断を目指すバイオマーカーの探索および、治療反応性その他精神疾患のサブグループを解明する病態探索研究」に対するご協力のお願い

研究代表（責任）者　　中島振一郎
研究機関名　慶應義塾大学医学部
（所属）　　精神･神経科学教室

このたび当院では上記の医学系研究を、慶應義塾大学医学部倫理委員会の承認ならびに研究機関の長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施します。

今回の研究では、同意取得が困難な対象となる患者さんへ向けて、情報を公開しております。なおこの研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を「８　お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

１　対象となる方

以下のいずれかの研究に参加された方で、研究同意書の「新たに倫理審査にて承認された、他研究で二次使用されることに同意する」、もしくはそれに類する事項に同意をされた方。

＜対象となる臨床研究＞

・経頭蓋磁気刺激法及び高解像度脳波同時計測による精神神経疾患の神経生理学的バイオタイプの同定を目指した革新的横断研究 (承認番号: 20170152)

・統合失調症における治療反応性と脳内 GABA 濃度の関係：マルチモーダル MRI を用いた横断研究 (承認番号: 20170313)

・治療抵抗性うつ病に対する新規経頭蓋磁気刺激療法の開発とその治療反応予測因子の同定 (研究実施番号: jRCTs032180188)

・統合失調症における治療反応性と脳内グルタミン酸濃度の関係：マルチモーダル MRI を用いた横断研究(承認番号: 20160320)

・統合失調症患者と自閉症スペクトラム障害患者の末梢血内微量物質の関係：質量分析を用いた横断研究（承認番号：20170262）

２　研究課題名

承認番号　　20241008

研究課題名　生物学的検査を用いた精神神経疾患の診断を目指すバイオマーカーの探索および、治療反応性その他精神疾患のサブグループを解明する病態探索研究

３　研究組織

研究代表機関	研究代表者
慶應義塾大学医学部	（職位）（氏名）専任講師 中島振一郎

４　本研究の目的、方法

精神病の原因や具体的な状態はまだはっきりわかっていません。そのため、特別な検査で診断するのではなく、患者さんの症状を見て診断を行います。今後は、現在の診断方法や治療方法を改善するだけでなく、新しい診断体系を作ることが求められています。これには、いろいろな年代の健康な人や病気の人、その家族の情報をたくさん集めて研究することが必要です。この研究を通じて、より良い治療法を見つけたり、新しい診断方法を開発することが期待されています。このような取り組みは、社会的にもとても重要です。

私たちは、これまで様々な研究にて得られた脳の様々な機能や構造のデータを使って、新しい病気の分類やその原因を明らかにすることを目指しています。これにより、新しい診断方法や治療法が開発され、脳の働きについての理解が深まることが期待されます。それにより、患者さんの心の症状や社会での活動、治療への反応が改善されるだけでなく、患者さん自身の満足感も高まることが考えられます。

５　協力をお願いする内容

上記の研究にて取得させていただいた情報の二次利用

６　本研究の実施期間

研究実施許可受領後から 2030 年 12 月 31 日まで

７　外部への試料・情報の提供

なし

８　お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また本研究の対象となる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より、試料・情報の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。

氏名：中島　振一郎

研究機関：慶應義塾大学医学部

所属部署：精神・神経学教室

職位：専任講師

メールアドレス: keio.tms.research@gmail.com

以上